

# 岩手県職労

号外

昭和34年4月1日

第3種郵便物認可

定価1部2円

発行所

盛岡市内丸10番1号

岩手県庁内

No.2319

2015年

2月18日

第112回県職労臨時大会を2月28日に開催。各支部の代議員選出と職場の意見集約を。

**2015 春闘①**

## 2月16日 春闘要求スタート！

### 人事課総括課長回答 自己負担解消「努力する」 人事異動は「例年通りのスケジュール」

県職労では2月16日、県当局に対し自治労岩手県本部統一要求書を提出し、春闘交渉をスタートさせた。春闘アンケートの結果による11,000円の賃上げ要求に合わせ、復興業務にしっかり取り組める賃金・労働条件の整備が必要であること、手当改善・労働時間の短縮、人員確保など9項目に渡る要求を行い、現時点での回答を求めた。



熊谷人事課総括課長は、「通勤や単身赴任など自己負担となっていることは問題と認識している。改善に努力する」との現時点での認識を示した。人員確保については「前倒し採用を含め143人の採用見込みであり、加えて他県の応援職員について引き続きお願いしている。再任用については希望のあった50人を新たに採用する」と回答した。人事異動については「現時点では例年どおりのスケジュールを考えている。作業中であり時期はまだ示せない」と回答した。

県職労は、1日でも早い内示となることを強く要求し、次回3月に県職労独自要求書による交渉を行うこととし、終了した。

人事課長の回答状況については次のとおり。

#### 【賃金要求・手当改善】

県職労：賃金改善が物価上昇に追いついていない。生活維持のためにも賃金改善を。

人事課長：基本的に人勸を尊重している。来年度の勧告を見ながら判断することとなる。

県職労：諸手当について、通勤や単身赴任など自己負担となっている実態の改善を。

人事課長：通勤や住居、単身赴任等で自己負担となっていることは承知しており、一昨年に単身赴任手当、昨年通期手当について改定をしてきた。要求のあった自己負担の実態については、問題があると認識している。これからも改善に努力していく。

### 【人員確保について】

県 職 労：職場の人員不足はこれまでも訴えてきた。人員確保の状況はどうなっているか。

人事課長：欠員解消のため、前倒し採用も含め取り組んできた。来年度採用人数は前倒し採用を含めた、143人を予定している（うち専門職種：職獣医師6人、保健師5人、薬剤師2人など）。加えて任期付職員を県配置で33人（うち前倒し5人）を採用する。その他県外派遣応援職員をお願いしている。

県 職 労：秋の交渉で確認した人数より少ない。欠員解消にはならないのではないか。

人事課長：募集に対し、土木職を中心に応募人数が少なかった。

1月に再度試験を行ったが、それでも予定した人数を採用できなかった。欠員の穴埋めには至っていない。来年度に早期補充となるよう検討している。

県 職 労：円滑な業務のためには人員確保は最優先課題である。選考採用などあらゆる方法を検討するよう要請する。

再任用の採用状況はどのようになっているか。

人事課長：新規で希望のあった50人を採用する。継続希望者60人を含め110人を再任用とする見込み。



### 【人事異動について】

県 職 労：人事異動について、早期内示を要望してきたが作業の進捗状況、内示の見通しはどうか。

人事課長：現在、鋭意作業中である。内示時期はまだ示せないが、例年通りのスケジュールで進めている。

県 職 労：子どもの学校の手続きなどもあり、組合員からは早期内示の要望が強い。1日でも早い時期に内示を行うよう改めて要求する。



### 【勤務意欲の確保について】

県 職 労：職員の勤務意欲の確保について、どのような対策を行うか。

人事課長：秋の交渉でも話したとおり、任用や勤勉手当の評価枠を拡大している。主管任用については、昨年の45人を上回る人数を予定している。

## 3月の交渉で誠意ある回答を求める

2015年2月28日(土)13:00~ 於:自治労県本部会議室

**県職連合第17回・県職労第112回臨時大会 開催**